

エネルギーの 明日を考える

静岡
開催

参加
無料

測って伝える

～物理学者早野龍五からみる福島7年～

福島第一原子力発電所の事故により、放射線によるがんや健康への影響について数多くの報道や情報が発信されていますが、混乱や無用な不安を避けるためにも正しく知って正しく怖がるのが大切です。

そこで、原子物理学がご専門ながら、福島事故に関して沉着冷静な現状分析と情報発信をされ、また、小児用のホールボディカウンター(内部被曝を測る全身測定器)を開発するなど独自の活動を行ってこられた東京大学名誉教授早野龍五氏より、放射線の影響を正しく理解する取組みについてご講演いただきます。

講師



東京大学名誉教授(物理学者)

はや の りゅう ご

早野 龍五 氏

講師プロフィール

世界最大の加速器を擁するスイスのCERN研究所(欧州合同原子核研究機関)を拠点に、反物質の研究を行う。また、2011年3月以降、福島第一原子力発電所事故に関して、現状分析をしTwitterで情報発信を行う。新潮文庫「知ろうとすること。」を糸井重里氏と共著し、科学的に考える力の大切さを提唱。
1952年生まれ 岐阜県大垣市出身
1979年 東京大学大学院理学系研究科修了、理学博士、高エネルギー物理学研究所助教授、東京大学助教授を経て1997年 東京大学大学院理学系研究科教授
2017年 東京大学名誉教授
現在 才能教育研究会(スズキ・メソッド)会長、(株)ほぼ日サイエンスフェロー、放射線影響研究所評議員、国際物理オリンピック2022協会理事、などを兼務。反物質の研究により2008年仁科記念賞、第62回中日文化賞など受賞。

日時

平成31年

2月23日 土

14:00～16:00

会場

静岡労政会館 6階大ホール
(静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館ビル)

次回
講演

豊橋開催 平成31年 3月1日(金)

第4次産業革命とエネルギー

慶應義塾大学大学院 特任教授 遠藤 典子氏

申し込み

- ・インターネット
- ・FAX
- ・ハガキ

でお願いします。

※応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。